春夜宴桃李園序

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

はかない人生は〔①　　〕のようなものである。〔②　　〕が灯をともして夜まで遊ぶのはもっともなことであり、なおさらのこと〔③　　〕の夜を楽しむべきである。そこで、桃や李の花の咲く庭園に集まり、一族で楽しい集いをするのである。弟たちは〔④　　〕である。高尚な談論はますます清らかになり、盛んに酒を飲んでは〔⑥　　〕に歌を詠むが、私の作る詩は〔⑤　　〕を眺めて酔う。このようなときに立派な詩ができなければ、どうして風雅な思いを述べることができようか。もし詩ができなければ、罰として〔⑦　　〕を飲ませることにしよう。

重要語句 次の語句の読みと意味を答えなさい。ただし、読みは送り仮名も含めて現代仮名遣いで答えること。

(1) 夫レ（一六〇・1）

(2) 者（一六〇・1）

(3) 若シ（一六〇・4）

(4) 良ニ（一六〇・6）

(5) 仮ス（一六〇・8）

(6) 為リ（一六一・2）

重要句形 次の文を書き下し文に改めなさい。

(1) 為レ歓ヲ幾何ゾ。（一六〇・4〜5）

(2) 況陽春召レ我ヲ以テ二煙景ヲ一。（一六〇・7〜8）

(3) 独リ慚ヅ二康楽ニ一。（一六一・2）

(4) 幽賞未レ已マ、高談転タ清シ。（一六一・2〜3）

(5) 何ゾ伸ベン二雅懐ヲ一。（一六一・4）

(6) 如シ詩不レ成ラバ、罰ハ依ラン二金谷ノ酒数ニ一。（一六一・4〜5）

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 次の文は、「夫天地者……百代之過客。」（一六〇・1～3）の内容をまとめたものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

天地は［A］が宿る［B］のようなもので、時間は［C］のようなものである。

2 「浮生若レ夢。」（一六〇・4）とは、どのような意味か。

3 「為レ歓幾何。」（一六〇・4～5）とはどういうことか。作者の主張を説明しなさい。

4 「会二桃李之芳園一、序二天倫之楽事一。」（一六一・1）とあるが、そのように述べる理由を**二つ**書きなさい。

5 「独慚二康楽一。」（一六一・2）とあるが、なぜ「慚」じるのか。

6 「開二瓊筵一以坐レ華、飛二羽觴一而酔レ月。」（一六一・3～4）とあるが、

(1) 「坐レ華」「酔レ月」に表れている宴の様子を、本文中から**二字**で抜き出しなさい（訓点は不要）。

(2) このときの作者の気持ちを端的に表した**漢字一字**を、本文中から抜き出しなさい。

7 「不レ有二佳作一、何伸二雅懐一。」（一六一・4）を句形に注意して現代語訳しなさい。

8 「如レ詩不レ成」（一六一・4）とあるが、詩ができない者はどうなるのか。